

一、翻訳

1. 次の日本語の文章を中国語に翻訳しなさい。

J監督のフィルムを観ていてまず気付くのは、それが多くの雑音で溢れかえっているという事実だ。雑音というのは、食堂や警察署のTVからひっきりなしに流れる放送や、町中に拡声器を通して流されるラジオ放送、車のクラクション、足音といった風に、純粹に音響の次元での雑音にかぎったことではない。記号論的な意味での雑音、つまり効率の悪い意思疎通や、読み取りにくいメッセージ、聞き取れないお喋りといったものまでを含んでいる。

ひとつのショットが長々と続く。そのなかでは複数の出来事が生じるのだが、それらの中で説話上の重要性が明確に提示されない。つまりどの事件がその場面の中心であって、観客がどこに注意を払っていいのかが、咄嗟には理解できない。ある作品のなかに、ビリヤード場で若者たちが屯しているショットがある。トランプに熱中して叫んでいる者もいれば、姿こそ見えないもののオペラのアリアを練習している者もいる。ビリヤードの盤の上でふざけあっている若者もいる。こうした光景の隅に、真面目に小さな声で話し合っている若者二人がいる。ルーティン化された雑音の集積のなかで、観客は自分で画面を組まなく走査し、何が問題となっているかを自分で見つけ出さなければならない。ハリウッド映画のように、万人が絶対に間違えなくメッセージを受け取ることができるように、優しく作られているわけではないのだ。その結果、観客も、それどころか登場人物にもよく理解されないままに、もう二度と後戻りできないような、決定的で深刻な事件がいつの間にか生じていて、後になってそれに気づかされるということが生じる。

彼のカメラが創造する空間は勢いに満ちているとともに、つねに無防備であり、攻撃誘発性に満ちている。それは登場人物たちの、他者に対する無防備さ、攻撃誘発性に、みごとに対応している。彼らはみずからが空無であり、何が重要で何がそうでないかを、キチンと焦点を当てて判別することができないまま、他者の雑音に侵食され、ますます不幸な転落を重ねてゆくのだ。

2. 次の中国語の文章を日本語に翻訳しなさい。

過去说起过年回家，经常谈论的是团聚、年夜饭、鞭炮和春晚。而如今，这一切都变了。我们首先必须谈论的是“春运”。

当我们回到老家与亲人团聚的时候，自然会感到在这个大变革时代中人际关系的疏离。疏于来往的亲戚间浮于表面的寒暄，从各地回乡的人之间暗含机锋的攀比，使原本热望的团圆场景淹没在一场场单调且漫长的宴会中。

在这些的背后是我们必须面对的现实：中国仍然面临着严重的城乡二元化分割现象，人们纷纷涌向大城市，寻找新天地。而父辈们却不能或不愿一同迁往大城市。所以，一年一度的春节演绎着一场场悲壮的长途迁徙。无论对于社会抑或个人，这样人类史上的奇观都耗费巨大，让人们身心俱疲。

需要改变的是中国严重的资源配置不平衡。那些中小乡镇和城市如果能有更多的机会获得资源与发展，人们对于自己的工作地就会有更多选择的可能，不必千里迢迢奔赴少数几座城市。如此，回乡路才不会如此艰辛，家庭关系才会得以修补。回家，对我们来说将真的变得温暖。

二、 翻訳文修定

1. 日文中訳の翻訳文修定(日译汉审定稿)

次の翻訳文に不適切な翻訳が10カ所あります。その個所に下線を引き、番号をつけ、解答用紙に番号に順じて解答を書きなさい。

今の政権に失望するところは多々あっても、「何も出来ない政権」という一刀両断型の設問では、死臭に群がるハイエナの噛みつきに過ぎなくなる。できないこと、出来ていることをきちんと分けて論じないと、議論そのものが生産的でなくなる。ちなみに、国民の命の日常的危機管理に欠かせない様々な事故・災害の原因解明と対策に被害者の声・視点をしっかりと位置づけするとともに、被害者支援も公的課題にして、安全・安心な社会づくりをしていくという画期的な取り組みが、この2年の間に積極的にすすめられるようになっている。

これに対し、集中砲火を浴びせられている領土問題、財政危機と消費税問題、少子化高齢化対策などの問題は、何10年も前からまさに政治が日本の未来にかかわる問題として、戦略的に取り組むべき課題だった。

日本を五里霧中の状態に陥らせたのは政治・行政が経済を絶対的価値基準にして、1990年代にアメリカの弱肉強食につながるグローバリズムと新自由主義を無批判に受け入れたこと、人間性破壊の派遣労働を原則自由化したこと、2000年代になると、人間への負の影響に対するアセスメントなしにIT革命

を猛烈に進めたこと、地方の衰退を加速させたことなどによる社会の構造的な破綻以外の何物でもない。この際、日本の最高の知者を集めた、日本のあるべき姿を考える一大国民会議は作れないか。

この国の未来につなげるべき財産の筆頭は、「命を大事にする心」だ。戦争を体験していない世代が政治を動かす時代になり、命の重さをからだで感じないで理屈のレベルでしか考えない政治家が大勢を占めていることを、一昨年夏、脳死問題や水俣病問題の国会審議を聞いて感じ、愕然とした。その伝で戦争の是非を論じられたのでは、たまらない。戦争の惨禍に露呈される非人間性を国家として伝承する、経済的繁栄の陰で生じた公害・薬害・事故・災害などの負の遺産を安全・安心社会建設の基盤として伝承していく文化を創るなど、世界に類例のない「命を大事にする文化」を持つ国を建設することを、前述の一大国民会議のメインテーマにすべきだろう。

尽管人们在许多问题上对现政权感到失望，但是如果就此断然设问“现政权是一个一无是处的政权”，那不过相当于一群鬣狗在死尸的腐臭气味中乱咬一样。如果不将（现政权）做不了什么和已经做了什么明确区分开来进行讨论，那么这个讨论本身也就是缺乏建设性意义的讨论。附带说一下，近2年来现政权在阐明各种事故和灾害的原因时，以及在采取相关对策中，切实重视了受害者的呼声和看法，这些在平时的、与国民生命相关的危机管理中是不可缺少的。同时，将救助受害者作为一个公共性的课题，积极推进了建立安全、安心的社会这项具有划时代意义的工作。

相比之下，那些备受诟病的领土问题、财政危机问题、消费税问题、少子化和人口老龄化对策等问题，的确是政治关系到日本未来的问题，应从战略的高度进行谋划。

日本之所以陷入束手无策的迷茫状态，在政治和行政方面把经济当作至高的价值标准，在90年代不加批判地接受导致美国弱肉强食的全球主义和新自由主义；原则上实行破坏人性的劳务派遣制度；到了2000年，在对人的负面影响不做评估的情况下，狂飙突进地推进IT革命；以及地方加速衰退等一系列问题导致社会结构性滑坡。这种情况下，应该考虑设立最高国民会议，网罗日本最具智慧的人士，思考日本应有的角色定位。

“具有一颗珍惜生命的心”，这应该成为关系到日本未来的最重要的财富。前年夏天，我在国会听到关于讨论脑死亡问题和水俣公害病的审议情况时，惊愕地感到，现在已经到了一个没有战争经历的一代人操纵政治的时代，很多政治家在考虑生命的价值时，他们没有切身的体会，而只会从是否合乎道理的层面来考虑问题。用这种做法去讨论战争的是非，那将令人发指。我们要创建一种文化：作为国家，把战争惨祸中呈现出的非人性传承下去；并将由经济繁荣所带来的公

害、药物伤害、事故、灾害等负面遗产作为建设安全、安心社会的基本前提永远铭记。即把我国建设成为世界上独一无二的、拥有“珍惜生命文化”的国家，作为上述最高国民会议的主要议题。

2. 中文日訳の翻訳文修定(汉译日审定稿)

次の翻訳文に不適切な翻訳が10カ所あります。その個所に下線を引き、番号をつけ、解答用紙に番号に順じて解答を書きなさい。

国务院召开常务会议，研究部署加快发展我国下一代互联网产业。

会议指出，抓住新形势下技术变革和产业发展的历史机遇，在现有互联网基础上进行创新，发展地址资源足够丰富、先进节能、安全可信，具有良好可扩展性和成熟商业模式的下一代互联网，对于加强信息化建设，全面提高我国互联网产业发展水平，具有重要意义。

目前，全球互联网根域名服务器已实现对国际互联网协议第6版的支持。我国已在基于国际互联网协议第6版的下一代互联网理论研究、关键技术研发及设备产业化、技术试验、应用示范、安全保障、标准制定、人才培养等方面取得了阶段性进展，后续规模化商用和发展已具备良好基础。

会议明确了今后一个时期我国发展下一代互联网的路线图和主要目标。2013年年底前，开展国际互联网协议第6版网络小规模商用试点，形成成熟的商业模式和技术演进路线。

2014年至2015年，开展大规模部署和商用，实现国际互联网协议第4版与第6版主流业务互通。在此过程中，形成一批具有较强国际影响力的下一代互联网研究机构和骨干企业，全面增强互联网产业对消费、投资、出口和就业的拉动作用，增强对信息产业、高技术服务业、经济社会发展的辐射带动作用。

国务院は常務会議を開催し、わが国の次世代インターネット産業の発展加速について検討し、計画をたてた。

会議では次のように指摘された。新たな情勢下における技術革新と産業発展の歴史的チャンスをつかえ、既存のインターネットの基礎を踏まえて革新を推し進めて、アドレス資源が豊富な、先進型省エネの、安全性が高い、好ましい拡張性能と成熟したビジネスモデルを有する次世代インターネットを構築する。これは、情報化の強化とわが国インターネット産業の全面的な向上における重要な意味がある。

現在すでに世界のルートサーバはIPv6を支持している。わが国はすでにIPv6という次世代インターネットについて、理論研究、重要技術の研究開発

と設備の産業化、技術実験、応用モデル、セキュリティー、基準設定、人材育成などの面で段階的な進展を遂げているので、今後のビジネス化と発展の拡大の上で好ましい基盤が備わっている。

会議では、わが国が今後一時期にわたり次世代インターネットを発展させていくうえでのロードマップと主要目標が明確にされた。2013年末以前、IPv6の小規模なビジネス化を試験的に展開すれば、成熟したビジネスモデルと技術発展路線を形成する。

2014年から2015年にかけては、大規模な布石とビジネス化を展開し、主要サービスにおけるIpv4とIPv6の互換性を実現する。この過程を通じて、かなり強い国際的影響力をもつ次世代インターネット研究機関と中核企業を数多く設立し、インターネット産業がもつ消費・投資・輸出・雇用を引っ張る力と、情報産業、ハイテク・サービス業、経済社会の発展に対する拡張やリード的役割を全面的に強化する。